

都市再生整備計画 事後評価シート
第2期江津地区

平成29年3月

島根県江津市

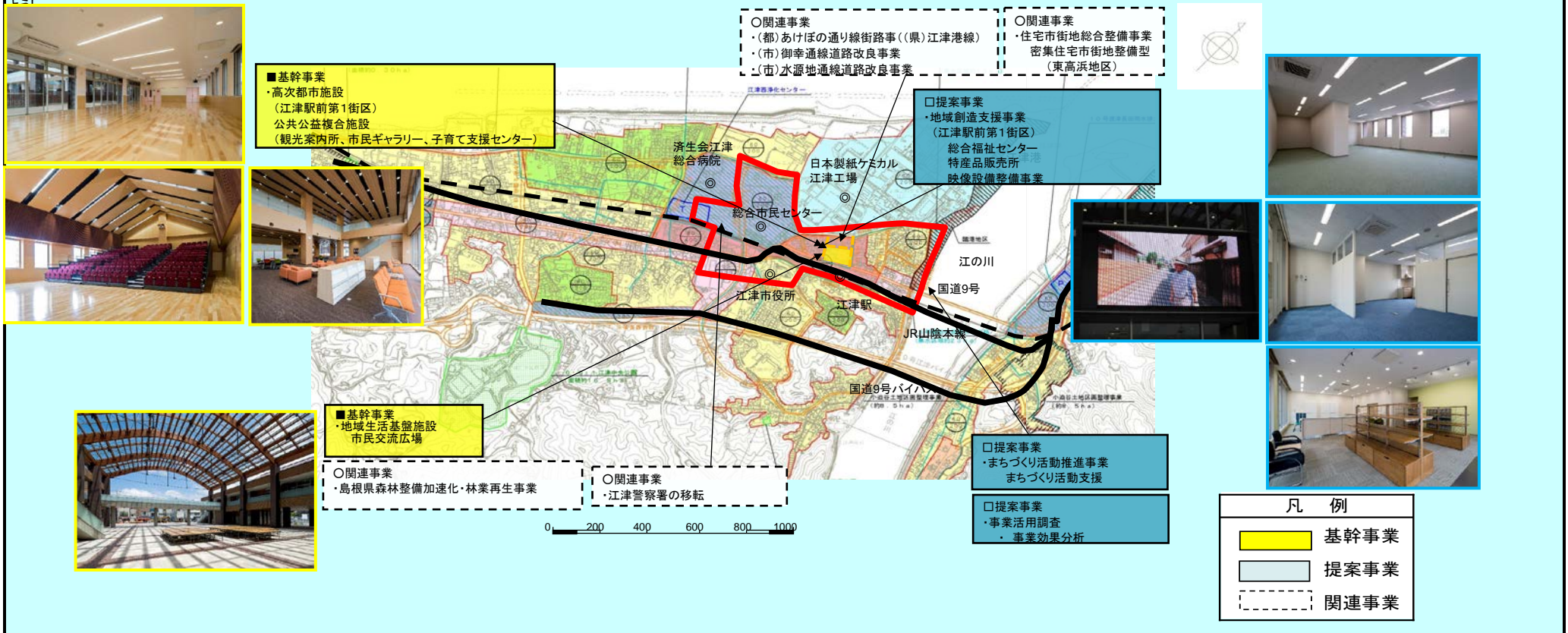
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県		市町村名	江津市		地区名	第2期江津地区			面積	40ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	2,206百万円	国費率	0.418				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	高次都市施設(公共公益複合施設(観光案内所・市民ギャラリー・子育て支援センター))、地域生活基盤施設(市民交流広場)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(総合福祉センター)、地域創造支援事業(特産品販売所)、地域創造支援事業(映像設備整備事業)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動支援									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業	道路((市)江津敬川海岸線(部分改良))			事業近接で公営住宅整備計画の事業化が検討されることとなり、次期計画での施工が合理的であると判断したため。			影響なし			
			基幹事業	地域生活基盤施設(五左衛門パーク)			事業近接で公営住宅整備計画の事業化が検討されることとなり、次期計画での施工が合理的であると判断したため。			影響なし			
交付期間の変更		提案事業	地域創造支援事業(特産品販売所)			公共公益施設の設計変更による整備費の増			公共公益施設の機能向上により、同施設の利用者数増加が見込まれるため、指標2及び4の目標値を上方修正。				
		提案事業	地域創造支援事業(映像設備整備事業)			交流広場と共に映像設備を一体的に整備することで、イベントの充実、周辺地区のにぎわい創出を図るため。			影響なし				
		当初	なし			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	イベント開催数	回/年	2	H23	5	H28		15	○	あり なし	公共公益複合施設および市民交流広場などのイベント拠点が整備されたことにより、イベント開催数の増加につながった。	H29.10
	指標2	公共公益複合施設の年間延べ利用者数	人/年	0	H23	50,000	H28		79,196	○	あり なし	公共公益複合施設が高次都市機能として、利便性の高いサービス提供を行うとともに、多様なイベントを開催することが施設利用者の増加につながった。	H29.10
	指標3	あけぼの通りの東側の空き店舗率	%	44	H23	20	H28		17	○	あり なし	公共公益複合施設および市民交流広場整備が決定したことによる事業者の期待や、施設整備後、施設周辺の賑わいが向上したことが影響し、空き店舗率の減少につながった。	-
指標4	あけぼの通り・御幸通り・水源地通りの3路線の歩行者自転車通行量の合計	平日:人/7h 休日:人/7h	平日:624 休日:294	H23	平日:720 休日:334	H28	平日:631 休日:607	平日:478 休日:366	△	あり なし	関連事業として近接で整備中の各種道路事業が事業中であり、平日の歩行者自転車通行量が通行量が減少したと考えられる。休日は、公共公益施設および市民交流広場の利用により、通行量が増加したと考えられる。	H30.4	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	交通結節点近傍に公共公益施設を整備したことで、施設内のフリースペースにおいて学生同士の交流や地域間交流が生まれ、施設自体のにぎわいの向上が図られた。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	指標4:あけぼの通り・御幸通り・水源地通りの3路線の歩行者自転車通行量のモニタリングの実施					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 今後も継続して、通行量の把握に努める。また、道路整備事業の完成予定に合わせた年度で通行量計測を行い、公共公益複合施設整備後の効果を検証する。	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
住民参加プロセス	住民組織との連携による事業推進					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 今後も中心市街地活性化協議会をはじめとする住民組織と連携し、賑わいのあるまちづくり活動の継続を行う。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	地域まちづくり組織を活かした、まちづくり活動の継続					都市再生整備計画に記載し、実施できた					● 今後も中心市街地活性化協議会をはじめとする住民組織と連携し、賑わいのあるまちづくり活動の継続を行う。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

第2期江津地区(島根県江津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 江津市の交流・賑わいを先導し、江津市の玄関口・江津市の顔にふさわしい駅前づくりを行う。 【目標1】 公共施設の移転集約にあわせ新たな機能を追加することで都市福利施設の充実を図り、あらゆる人が訪れ、交流できる、賑わい空間を実現させる。 【目標2】 誰もが快適に歩ける環境整備・商業機能の充実を図り、街なかの利便性と回遊性を向上させる。	イベント開催数	単位: 回/年	2	H23	5	H28	15	H28
	公共公益複合施設の年間延べ利用者数	単位: 人/年	0	H23	50,000	H28	79,196	H28
	あけぼの通りの東側の空き店舗率	単位: %	44	H23	20	H28	17	H28
	あけぼの通り・御幸通り・水源地通りの3路線の歩行者自転車通行量の合計	単位: 平日: 人/7h 単位: 休日: 人/7h	平日: 624 休日: 294	H23	平日: 720 休日: 334	H28	平日: 478 休日: 366	H28



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公共公益複合施設と市民交流広場の整備により、イベント数の増加や空き店舗率が減少するなど、中心市街地の賑わいの拠点が形成された。 駅前にホテルが立地するなど、公共公益施設が民間活力の誘発につながっている。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の実施支援やまちづくり活動支援、専門家派遣事業等々を検討し、公共公益施設を活用した市民交流や生涯学習、観光交流等の場としての利用促進を引き続き行う。 空き店舗再生、新規出店支援、民間事業支援などを検討し、公共公益施設の集客力を活かした民間活力の誘発により、中心市街地の活力向上と更なる空き店舗数の低減を図る。 街なか居住エリアをはじめとした他エリアとの連携による回遊性の向上による、中心市街地の居住人口の増加を図る。